

2023 年度アカデミック・ライティング科目履修 よくある質問

「アカデミック・ライティングの基礎」と「アカデミック・ライティング演習1」の履修に関して分からない点があったら、まず以下のFAQを確認してください。以下のFAQは、冊子『2023 年度 明治学院共通科目ガイダンス ハンドブック』の制作時点以降の状況の変化に即した最新版です。なおアカデミック・ライティング科目の履修登録全般についての最新情報は、ウェブページ「[【アカデミック・ライティング科目】履修申込の方法と履修相談 \(2023\)](#)」(<https://mgu-cfla.cc-town.net/2023aw>) で確認できます。

A. 履修と手続きについて

1. 初回授業前に履修のための手続きは必要ですか？
 - ・「基礎」は ☞ 受講を希望する学期の履修登録期間、初回授業前日までに**仮登録**すること。多数の場合抽選。仮登録以降の手順については第一週授業でも説明する
 - ・「演習1」は ☞ **春学期・秋学期の開講クラスとも**、新年度開始の時点で履修を申し込むこと。新入生の事前申し込みは、4月1日（土）9:00～4月4日（火）17:00のあいだ受け付ける。多数の場合抽選。
2. どの曜時限を選べばいいのでしょうか？
 - ・必修科目など所属学科が履修を求める科目と重ならないよう、各自時間割を確認する（学科ごとの要注意時限一覧を「[履修登録上の注意点](#)」https://mgu-cfla.cc-town.net/download_file/251/0に掲載＝冊子『2023 年度 明治学院共通科目ガイダンス ハンドブック』の掲載内容と同一）
 - ・開講クラス数の多い曜時限（コマ）ほど当籤しやすい傾向も参考にすること
3. 自分の時間割（必修科目）はどこで分かるのでしょうか？
 - ・「Port Hepburn」の時間割で各自確認する（同じ必修科目でも履修者ごとに曜時限が異なることがある）
4. 「履修登録上の注意点」に示す要注意時限一覧では「▲」の曜時限に、「Port Hepburn」の時間割では授業が入っていません。この曜時限に「演習1」（または「基礎」）を履修できますか？
 - ・必修科目や選択必修科目では、複数の開講曜時限の中から、学籍番号などにより一つを割り当てられる場合も多く、「▲」「△」の曜時限に学科の必修科目・選択必修科目などが入っていない学生もいる。各自の「Port Hepburn」上の時間割に授業が入っていないければ、ほかの科目を履修することができる
5. 「基礎」と「演習1」のどちらを履修すればいいのでしょうか？
 - ・書くスキルの習得にじっくり取り組みなければ、「基礎」→「演習1」と両方履修することをすすめる
 - 「基礎」☞ 入門的内容で、レポート課題はないが、毎回小テストがある（通常定員75名）
 - 「演習1」☞ 学期中6～7回ほどレポートを執筆し、添削によりスキルがよく身につく（定員15名）
6. どの学期に履修すればいいのでしょうか？
 - ・「基礎」も履修するなら、「演習1」は「基礎」を履修する学期の翌学期以降履修する（「[演習1](#)」と同学期や、「演習1」の履修後に、「基礎」は履修できない）
 - ・春学期の「基礎」は高倍率となりやすい傾向も参考にできる（とりあえず1年次に「演習1」を履修しないなら、秋学期の「基礎」がねらい目になる）

【参考】上手な履修の例

学期	例A	例B	例C	例D	例E
1年春	基礎	基礎	↓	演習	↓
1年秋	演習	↓	基礎		基礎
2年春		演習	演習		

7. 担当の先生を選ぶことはできますか？
 - ・できない
8. 内容的に自分の所属する学科の科目と重複しませんか？
 - ・学科により「アカデミックリテラシー」「基礎演習」などでライティング指導がある
(ただしレポート・ライティングに特化するのはいまのところ「基礎」と「演習1」のみ)
9. 卒業単位にカウントされますか？
 - ・選択科目(所要単位数は学科ごとに指定される)としてカウントされる(「基礎」と「演習1」はすべての学生が履修できる「明治学院共通科目」)
10. 留学生は「基礎」および「演習1」を履修できますか？
 - ・第二言語としての日本語能力の向上を必要とする学生は、留学生向けの「基礎」「演習1」(特に正規留学生に最適)を履修すること(くわしくは別ページ「[履修申込の方法と履修相談\(2023\)](https://mgu-cfla.cc-town.net/2023aw)」<https://mgu-cfla.cc-town.net/2023aw>で確認すること)
11. 指定されたurlから「演習1」の「事前申込フォーム」に辿りつけませんが、どうしたらよいですか？
 - ・ポートヘボンにログインした状態で「事前申込フォーム」へのリンクを開くか、Microsoftのサインイン画面が表示されたら各自の学籍番号で始まるMGメールのアドレスとMAINアカウントのパスワードでサインインを試みる
 - ・一度ブラウザを再起動し、「事前申込フォーム」が表示されるまで何度か更新を試みる

B. 授業形態について

12. 毎回教室での対面式となりますか？
 - ・「基礎」「演習1」とも対面で実施する
 - ・なお「基礎」については、授業内容の特性のためシラバスに示すとおり、「遠隔受講」を申請した履修者に対しても、5月3日までのオンライン遠隔受講をみとめない
13. 大学全体が遠隔授業に、あるいはその後対面授業に転換するばあい、この科目の形態はどうなりますか？
 - ・大学全体の方針にそって機動的に対面にも遠隔にも転換でき、到達点にも違いはない
14. オンライン遠隔授業となった場合、自分の好きな時間に(オンデマンドで)授業を受けられますか？
 - ・「基礎」「演習1」ともオンデマンドとはならない。授業時限内に取り組む課題、授業終了後短時間で提出期限となる課題があり、遠隔授業の場合も毎週かならず開講曜時限に授業を受けなければならない
15. 「基礎」の小テストは、オンライン遠隔授業となったばあいでも実施しますか？
 - ・「基礎」の小テストは対面/遠隔を問わず、オンライン学習管理システムmanabaにより実施する。ただし遠隔実施となったばあい不正行為防止のため、解答する間ビデオオンでのzoom接続を義務づけ、問題と正解を示しての解説は割愛する(これに代わる自習手段を提供する)
16. 教室に自分の情報機器を持参する必要がありますか？
 - ・「基礎」では小テストや作業課題にとり組むさい、「演習1」でも作業課題で、各自が教室に持参する情報機器で学習管理ツールの「manaba」を操作する。なおパーソナルコンピュータまたはキーボードつきタブレットの使用が望ましい(スマートフォンでは閲覧・入力などで不利となる可能性がある)

C. 授業に関する不安について

17. 作文が苦手で、レポートも書いたことがありませんが、授業についていけますか？
 - ・高校までの作文の経験に左右される部分は少ないが、自信がなければとりあえず「基礎」の履修をすすめる（ただし確実にスキルを身につけたいばあいは、「演習1」の履修が望ましい）
18. 対人関係が苦手ですが、「演習1」のばあい、ペアワークなどで困らないでしょうか？
 - ・チャレンジしてほしいところだが、個々の相談には担当教員が応じる。
19. アルバイト（またはサークル、家業）で多忙ですが、課題の多い「演習1」の授業についていけますか？
 - ・予復習に毎週平均2~6時間ほど必要となる（月曜授業では金曜、木曜授業では月曜の課題提出が多い）
20. 健康上の困難があるのですが、授業についていけますか？
 - ・上の質問の回答を参考に判断すること（健康、障がい、心理的問題などについての専門的な支援が必要なばあい、積極的に総合支援室に相談することをすすめる）

以上